

PCB入りコンデンサの所在不明について

<概要>

(事象の発生状況)

- ・ PCB入りコンデンサ 1 個が所在不明となっていることを、当社社員が確認しました。

(今後の対応)

- ・ 引き続き当該コンデンサの所在調査を継続するとともに、他に同様の事象がないかについて調査いたします。

(安全性・外部への影響)

- ・ 本事象による外部への放射能の影響はありません。
- ・ PCB入りコンデンサは密閉構造となっており、外部より強い衝撃が加わることなどが無い限り PCBが漏えいすることはありません。

(公表区分)

- ・ 本事象は公表区分その他ですが、透明性向上のためにお知らせするものです。詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 21 年 5 月 23 日、定期検査中の 2 号機の中央制御室に設置されている発電機保護継電器^{*1}の取り替え作業において、PCB^{*2}入りコンデンサ^{*3}を発電機保護継電器から取り外し、5 月 25 日に保管箱に仮置きしました。

7 月 7 日午後 5 時頃、当社社員が仮置きしていた当該コンデンサを発電所構内にある電気品置場に保管するために員数を確認したところ、3 個取り外してあるはずの PCB入りコンデンサのうち 1 個（1971 年製、油量：約 10 ミリリットル）が所在不明となっていることを確認しました。

所在不明のコンデンサには、高濃度^{*4} PCBが含まれており、本来発電所構内で適切に管理する必要があること、また今回他の電気品と一緒に発電所構外に持ち出した可能性もあることから、現在、所内外の関係箇所を探しております。

2. 今後の対応

引き続き当該コンデンサの所在調査を継続するとともに、他に同様の事象がないかについて調査いたします。

3. 安全性・外部への影響

所在不明の PCB入りコンデンサは管理区域内では使用されていないため放射性物質の付着はなく、本事象による外部への放射能の影響はありません。また、PCB入りコンデンサは密閉構造となっており、外部より強い衝撃が加わることなどが無い限り PCBが漏えいすることはありません。

以 上

*** 1 発電機保護継電器**

発電機および発電機周辺に電氣的な不具合が生じた場合、発電機を安全に停止させるための保護装置。

*** 2 PCB**

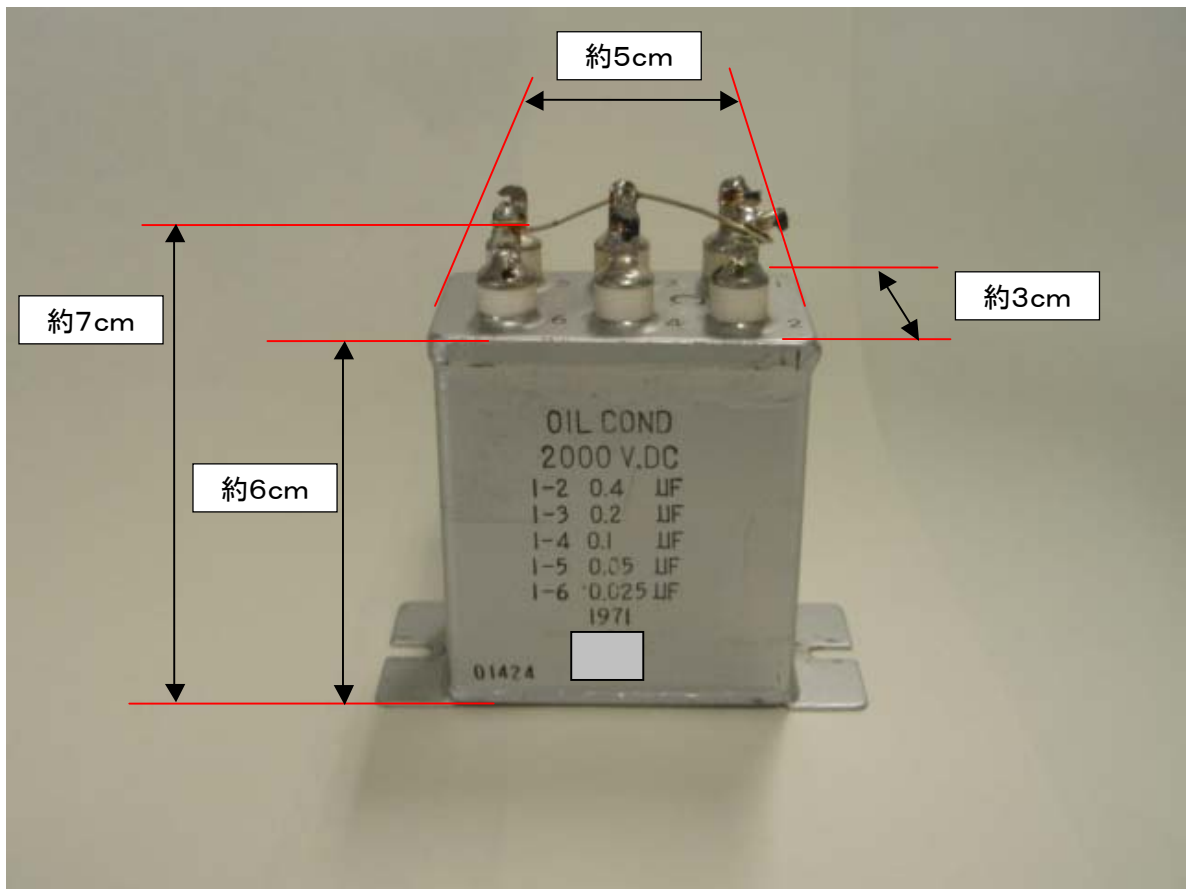
ポリ塩化ビフェニルのことで、水に溶けず化学的に安定、絶縁性が良い、沸点が高いなどの性質を持つ、工業的に合成された化合物。かつては絶縁油として使用されたが、人体への毒性や環境への残留性が問題となり、1972年以降生産が中止されている。

*** 3 コンデンサ**

電気を蓄えたり放出したりする電子部品。

*** 4 高濃度**

PCBを絶縁油として使用したもので、コンデンサの場合、PCB濃度は100%であるものが多い。



所在不明のPCB入りコンデンサと同型式のPCB入りコンデンサ